

平成 31 年 3 月 31 日

陸前高田市長 戸羽 太 様

受注者名 特定非営利活動法人 高田暮舎  
理事長 岡本翔馬  
住所 陸前高田市竹駒町字仲の沢 17 番地 1

### 事業完了報告書

平成 30 年 4 月 1 日に契約を締結した陸前高田市移住定住総合支援業務について、下記のとおり完了したので報告します。

|           |   |                  |
|-----------|---|------------------|
| 1 委託業務の名称 | 陸前高田市移住定住総合支援業務   |                  |
| 2 事業主体    | 特定非営利活動法人高田暮舎   |                  |
| 3 履行場所    | 陸前高田市内他   |                  |
| 4 履行期間    | 着手  | 平成 30 年 4 月 1 日  |
|           | 完了  | 平成 31 年 3 月 31 日 |
| 5 事業の内容   | <p>(1) 事業の目的</p> <p>平成 28 年に策定した「陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略」の趣旨を踏まえつつ、本市における人口減少と少子高齢化の問題に対処すべく、首都圏など都市部からの移住者の受入れによる地域活性化を図るため、移住希望者のニーズに合わせた情報提供から移住後のフォローまで切れ目のない支援を行うことによって、陸前高田市への定住や新たな移住を呼び込むことのできる地域づくりを進めることを目的とする。</p> <p>(2) 業務の内容</p> <p>上記の目的を実現するため、以下の業務を遂行した。</p> <p>1 移住定住サイト運営および更新業務</p> <p>移住定住ポータルサイト「高田暮らし」の更新と調整、移住者インタビュー「移住者に聞く」12 件掲載、移住者を対象とした求人情報の掲載「仕事を探す」を開始、市内企業の求人 5 件を取材・掲載した。</p> <p>空き家バンクに関する問い合わせ 48 件に対応、物件 9 件を登録・掲載。うちマッチング完了は 3 件、空き家バンク利用登録は 12 件となった。</p> <p>そのほか、地域おこし協力隊の日常の情報発信を目的とした「たかた暮らしコラム」を開始。スタッフ二名が計 10 件の記事を執筆・掲載している。</p> <p>2 移住促進イベント等での広報活動業務</p> <p>陸前高田市への移住定住および陸前高田市地域おこし協力隊の広報活動として出展。2019 年 2 月「岩手わかすフェス」への出展と自主開催となる「高田暮らしカフェ@東</p> |                  |

京」の開催。

### 3 移住希望者に対するワンストップ窓口の業務

移住定住を検討する市外在住者からの問い合わせへの対応をメール・電話にて行った。3月から全体で69件の問い合わせがあったが、移住に関する問い合わせはうち8件。うち、現地案内・対応を1名実施。また、移住が決定している移住予定者に対してヒアリングを行い、移住後・定住に対するフォローの在り方を検討した。

### 4 移住者と地域居住者とのコミュニティ形成支援業務

地域住民と移住者との交流を目的とした「高田暮らし交流会」の実施（計3回）、子育て世代向け交流会「ママの暮らしを考える会」、移住相談窓口「高田暮らしカフェ」（計2回）、地域おこし協力隊交流会を市内にて実施。また、移住者に対して移住前後の生活に関するヒアリングを行い、事業企画設計の参考とした。

### 5 陸前高田での移住定住ツアー実施業務

本年度の実施無し

### 6 その他移住定住促進に関する業務

各メディアへの取材対応、他地域からの視察対応のほか、移住定住先進地域への視察と業務連携の打診、中長期的な移住定住に関する施策の設計等を行った。